

稲むらの火と「なまず天国」

親子で、楽しく学ぶ防災人形劇教室

日程:2007年6月17日(日) 午前の部 11:30から12:30(開場11:00)

午後の部 14:00から15:30(開場13:30)



★プログラム

人形劇団フレッシュ「コン太の稲むらの火」

「こぶたくんとおおかみくん 家を建てる」

大地震で家は?

稲むらの火ワイワイタイム(ワイワイタイムは、午後の部のみ)

・稲むらの火知っている? 地震・津波のこと知っている?

助け合うことの大切さ! みんなで楽しく学ぼう!



なまず博士(静岡県地震防災センター所長 小澤邦雄)
あかずさん(人形劇団 わにこ: 静岡市)

入場無料〈先着順で入場〉

(人形の家の入館料は別途必要です。大人: 500円、子供: 150円)

- 〈主催〉横浜人形の家
〈共催〉(財)横浜観光コンベンション・ビューロー 日本人形劇とセラピー協会
神奈川災害ボランティアネットワーク
〈協賛〉日本IYPE国内委員会 損保ジャングループ 損保ジャパンちきゅうくらぶ
〈後援〉横浜市 横浜市教育委員会 東京大学地震研究所 横浜商工会議所
日本ウニマ(国際人形劇連盟日本センター) (財)現代人形劇センター
静岡大学学生防災ネットワーク いい顔・笑顔 人形劇の会
AIRジャパン神奈川ブロック J-SA神奈川ブロック
〈協力〉横浜災害ボランティアバスの会



YOKOHAMA DOLL MUSEUM
横浜人形の家

お問い合わせ 〒231-0023 横浜市中区山下町 18 番地

午前 10 時～午後 6 時 30 分 (入場は午後 6 時まで)

休館日: 7 月 / 8 月 / 12 月を除く毎月第 3 月曜日

(祝日にあたる場合、その翌日) 臨時に休館する日

TEL : 045-671-9361 FAX : 045-671-9022

<http://www.museum.or.jp/yokohama-doll-museum/>

なまず天国 親子で学ぶ防災人形劇教室

日本は「なまず天国」です。いつ「なまず＝地震」が大暴れするかもわかりません。神奈川県も、「東海なまず」、「横浜・川崎直下型なまず」、「神奈川県西部なまず」などなまずが何匹も泳いでいます。大人も子どもも、楽しくなまずを学べるように、ミナト横浜発の防災人形劇教室を始めました。

作品「コン太の稲むらの火」

小泉八雲の短編小説「生ける神」をもとにして書いた中井常蔵の「稲むらの火」を、キツネの子を主人公として動物たちの目になって脚本を作りました。

「災害にあった時、何が必要なのだろうか」をみんなで考えました。一番は「地域コミュニティ」です。つまり共同体としてのつながりで、地域の人々が助け合うということです。現代は「隣の人はなにをする人ぞ?」と互いに無関心で、あいさつもろくにしないというのが特別な例でなくなっています。そこに大きな災害が起きたらどうなるでしょうか・・・

「稲むらの火」では、自分の稲むらに火をつけて村人の命を救った浜口梧陵の機転の利いた対応や献身的な自己犠牲の姿が主題ですが、私たちはもうひとつ別の角度から、紀州藩広村の地域コミュニティのすばらしさに注目したのです。そして社会的にハンディキャップを持った人たちもその地域コミュニティの力で助けることができないかと考えたのです。

そこで虚構の世界をファンタジックに表現できる人形劇で、しかも動物を擬人化して、できるだけ楽しい雰囲気になるように工夫しました。

構想から制作に1年3ヶ月を要しました。まだまだ不完全ではありますが、みんなで力を合わせてつくった作品を楽しんでみてください。劇が終われば、さあみんなで「稲むらの火」のうたを歌いましょう。

●「稲むらの火」のうた 作詞作曲：シンガーソングライター 関島 秀樹

作品「こぶたくんとおおかみくん 家を建てる」

津波のことは、稲むらの火で楽しく学ぶことができます。だけど、建物の耐震を、楽しく学ぶにはどうすれば? そんな中から、3匹のこぶたの話がひらめいて、何事にも慎重なこぶたさんと乱暴なおおかみさんが、それぞれの家を建てて、大地震が起きるようになるか寸劇制作のアイデアが生まれました。東大地震研究所と人形劇の幸田先生との共同制作です。この横浜人形の家が初演です。

●特別出演：山岡 耕春 名古屋大学環境学研究科付属地震火山、防災研究センター教授
(映画「日本沈没」監修・前東大地震研究所教授)

稲むらの火ワイワイタイム

お話する人

伊藤 和明先生 (元NHK解説委員:ラジオで、こどもの科学番組を担当されています。何でも教えてください)

幸田 眞希先生 (聖徳大学短期大学部教授:被災地のこどもたちに、一杯人形劇を見てもらって、ひまわりのような笑顔を咲かせています)

湯浅 奈穂子先生 (損害保険会社に勤務:フレッシュのメンバーの一員として、人形劇活動に取り組んでいます)



人形劇団フレッシュ

1991年、愛知県立港養護学校の学級活動から生まれた人形劇団です。南は沖縄から北は北海道まで全国で公演活動を行ってきました。人形は、身体にハンディキャップのある役者のそれぞれの身体機能を生かす形で作られており、役者の仲間の表現意欲を高めています。学校卒業後も、それぞれの仕事をもちながら、「人形劇活動での生きがいづくり」をめざしています。

